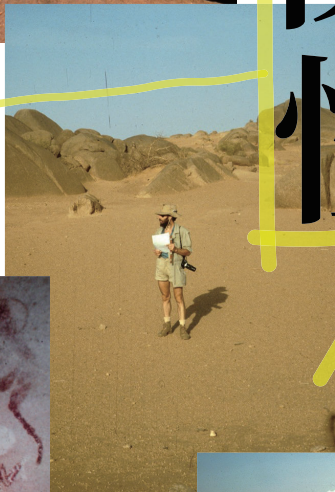
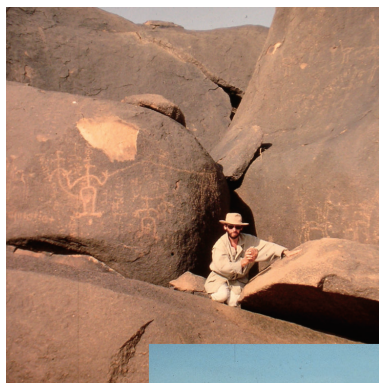


# サイエンスと

# アートの

# 相関性



## 考古学の視座と技法を通して

ジュリオ・カレガリー教授はアフリカ考古学の研究者であり、また現代芸術家でもあります。また、クリスティーナ・アンサローニ氏はミラノ在住の絵画修復家として壁画や古絵画の修復に携わってきました。岩崎奈緒子教授は日本近代史の研究者であり、博物館が所蔵する文化財の修復事業にも取り組んできました。宮津・竹の学校国際アートワークショップへの来日を機として、考古学に通ずる芸術性をテーマに、それぞれの専門的視座から「サイエンスとアートの相関性」についての講演を実施します。

OVERVIEW

## 2015年9月9日(水) 18:00-19:30

申込不要(先着順・会場定員まで入場可)

### 京都大学総合博物館講義室

[www.museum.kyoto-u.ac.jp/](http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/)  
京都市左京区吉田本町

- 【京都市バス】「百万遍(ひゃくまんべん)」停留所下車、南へ徒歩約2分  
JR・近鉄京都駅から17・206系統、阪急河原町駅から3・17・31・201系統
- 【京阪電車】「出町柳」下車、徒歩約15分(今出川通りを東進、百万遍交差点を南進すぐ)

### 「考古学と現代美術：サハラ砂漠に見えない街を読み解く、ある研究者の旅」

ジュリオ・カレガリー (イタリア国立ブレラ美術大学教授・ミラノ市立自然歴史博物館先史民俗学部門長)  
"Archeologia e arte contemporanea : una città invisibile sahariana nel percorso di un artista"  
Giulio CALEGARI

### 「芸術の修復：古代の絵画から現代美術までの修復事例」

クリスティーナ・アンサローニ (古絵画修復家)  
"Restauro d'arte : esempi su materiale antico e contemporaneo"  
Cristina ANSALONI

### 「マリア十五玄義図の修復」

岩崎奈緒子 (京都大学総合博物館長・教授・日本近世史)  
The restoration of "The Madonna with the infant Jesus and her fifteen mysteries".  
Naoko IWASAKI

LECTURERS

主催 宮津・竹の学校実行委員会  
NPO法人地球デザインスクール  
京都大学総合博物館  
共催 ミラノ市立自然歴史博物館先史民俗学部門  
イタリア文化会館・大阪  
助成 京都府、宮津市  
モデレーター 曾和治好 (京都造形芸術大学教授、宮津・竹の学校実行委員会副委員長)  
イタリア語通訳 栗原和美 (イタリア国立ミラノ大学哲学科、カレガリー教授コラボレーター)  
お問い合わせ 宮津・竹の学校実行委員会 [www.ibart2013.jindo.com/](http://www.ibart2013.jindo.com/)  
e-mail : [ibart2013miyazu@gmail.com](mailto:ibart2013miyazu@gmail.com) (担当：曾和)



京都府地域力再生活動